
クラブ管理委員会

委員長 稲濱 建夫 副委員長 川向 啓造
小委員長 廣澤 浩一（会場監督）
安田 年道・奥井 実（ニコニコBOX担当）
森川 徹（出席担当） 別所 泰広（プログラム担当）
空森 栄幸（ロータリー情報担当）
川向 啓造（親睦担当）
委員 北森 徹・堀川紘一郎・増田 雄・大西 正人
宮崎 信之

〈基本方針〉

ここ数年、新型コロナウイルス感染拡大による例会・事業中止の中、新たな生活様式と感染拡大防止対策も進み、徐々に以前の生活に戻ろうとしています。会長方針の中にもありますように、「通常のロータリークラブ活動が実施できるように」を基本に、会員と共に努めて参ります。

「事業計画」

○会場監督（SAA）

コロナ禍前の円卓席に戻し、会員との会話もできやすいように行います。その中にも楽しい品位のある充実した例会運営を続けていきます。また、引き続き、ニコニコBOXの協力もお願い致します。

○出席担当

クラブ例会に出席することは会員としての基本的な勤めです。毎週の例会に出席することで、会員同士の親睦・情報交換と共に、クラブの活性化にも繋がりますので、出席率向上にご協力お願いいたします。

○プログラム担当

会長方針の例会の充実を図るため、状況を見ながら外部卓話を月1回以上実施していきます。また、楽しい例会開催の中に「数回の移動例会」を取り入れていきます。

○ロータリー情報担当

新会員に対しては、クラブの適切な情報を伝え、会員としての精神・責務・権利を正しく理解して頂けるように勤めます。

会員に対しては、最新の情報を伝え、意識の高揚に資するように勤めます。

○親睦担当

会長・幹事・SAAと協力し、通常の例会の他に、創立記念例会・上野東クラブとの合同例会・夜間例会・早朝例会・移動例会等スムーズな例会運営に勤めます。

親睦家族会は前年度事業の引き続きで、7月に行います。本年度は、4月～5月頃に職業奉仕委員会の職場見学会と共に計画致します。

この1年間、コロナ感染前の状況に少しでの戻れるよう努めて参りますので、会員皆様のご協力をお願いいたします。

会員増強委員会

委員長 福増 久史
副委員長 神戸 安男
堀之内 壯平
会員選考 澤野 周勇
廣澤 浩一
山本ヒサ子
松川 英一
職業分類 木根 英男

入会以来初めて当委員会を担当させて頂く事になりました。しかも、実績もない私が務まるのか不安ですが、経験豊富な委員さんはじめ先輩会員の皆さんの御協力を頂き、会長目標であります、純増2名に向けて活動したいと思います。

地区増強委員会テーマ「一人の会員が一人を誘おう！」に沿えるよう、会員の皆さんの友人・知人・取引先の方・各団体のメンバーなど、ロータリアンとして相応しい方に積極的なお誘いをお願いしたいと思います。

そして、オープン例会への参加を呼びかけ、RCについて知ってもらうことが必要であると考えます。さらには、40歳未満の男女にも積極的に勧誘して頂き、若返りを目指したいと思います。

また、会員同士においても、さらに融和を持って、退会防止に努めて頂ければと思っています。

ひとり一人が、基盤強化を考えて強い気持ちで会員増強にご協力を頂きたいと思います。1年間よろしくお願ひします。

職業奉仕・社会奉仕委員会

委員長 中村 晶宣
副委員長 堀之内壯平
職業奉仕担当 澤野 周勇
社会奉仕担当 別所 泰広
余野部 猛
木根 英男

2年間に及んだコロナ禍での停滞を経て職業奉仕・社会奉仕の原点を再確認する 때가来ていると思います。

ロータリアンとして、今、何ができるか何をすべきかを委員会で十分協議し、提案していきたいと思っています。

具体的には会長の活動計画にあるように

1. 中・高齢者健康増進講座の再開。
2. 環境保全活動への積極的参加。

を進めていきます。

今、何よりも大切なことは奉仕活動を通じて、「職業宣言」と「四つのテスト」の精神を再認識することだと思っています。

広報委員会

委員長 市川 亮太
副委員長 松川 英一
クラブ会報 堀川紘一郎
宮崎 信之
雑誌担当 堀之内壯平
ホームページ（特任） 川向 啓造

《基本方針》

本年度は小坂会長の基本的理念でも各種事業の再開が掲げられており、通常の例会・各委員会活動・地区行事等が実施できる状況になりつつあります。

広報委員会は、上野ロータリークラブの様々な活動について情報を発信し、イメージ向上に繋がる様な広報活動を行い、他のロータリークラブ会員様へはもちろん地域社会の皆様にも当クラブの活動をよりご理解いただけるように活動を進めて参ります。

各委員会の皆様と連携し、また広報委員の皆様と協力して一年間の任期を務めさせていただきたいと考えておりますので、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

《活動内容》

1. インターネットの更なる活用によりクラブ内外への広報活動を推進して参ります。
クラブ会員の皆様だけでなく地域の公共イメージ、認知度の向上のため、ホームページだけでなく、Facebook等のSNSを活用した情報発信に取り組みます。
2. 毎月発行のMONTHLYについては、発刊時期や掲載内容については原則として引継ぎます。発刊方法については印刷コスト削減の為見直しを行います。
3. 報道機関を通じてクラブの活動について、広く地域社会に積極的にPRすることに努めます。
4. 『ロータリーの友』誌の読みどころの紹介を毎月1回、クラブの日の例会時に行います。
5. 一年間の活動記録を整理し、年報を発行します。

国際奉仕・青少年奉仕委員会

委員長 上島栄美子
副委員長 山下 雅一
国際奉仕担当 松川 英一
青少年育成担当 榊原 成人 (インターアクト活動)
委員 北森 隆文
増田 雄
大西 正人
ロータリー財団支援活動担当 山出 美材
米山奨学金支援活動担当 丸山 統正

前年度に引続き国際奉仕・青少年奉仕委員会の委員長を務めさせていただきます。今年度もコロナ禍の中、規制緩和も進んでまいりましたがまだまだどうなるか予測不能の状況であります。そのような状況下におきましても、小坂会長の基本方針に基づき、出来る限り活動をしてまいりたいと思います。

インターアクトクラブは現在上野高校と伊賀白鳳高校2校ございます。クラブのメンバーも年々減少傾向ではありますが、7月に行われるインターアクト年次大会への参加を機に久しぶりの交流や活動を通し、インターアクターとロータリアンとの交流を深め、今後のクラブメンバーの増員を目指すと共に、次年度に行われる年次大会のスポンサークラブとしての責務を果たすべく、準備を進めて行きたいと思っております。また、少年野球教室も開催できそうな見通しもついてきております。

ロータリー財団は人道奉仕を旨とする未来への投資、米山奨学金については人的投資であり（研究に対する奨学金・人材育成に対する奨学金）日本と他国との懸け橋となっていく人材を育成していく為のものでもあります。このような趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いしたいと思います。

会員の皆様にはご協力、ご支援を賜りますよう宜しくお願いいたします。

《事業計画》

- ・上野高校、伊賀白鳳高校両校長及び顧問教師との懇談会（4月予定）
- ・地区インターアクト委員会教師部会への参加（5月予定）
- ・インターアクト年次大会の参加（7月31日参加予定）
- ・インターアクト三重県協議会への参加（11月20日参加予定）
- ・ポリオ撲滅街頭募金の実施（募金活動の実施）
- ・少年野球教室の開催（ミキハウス野球場）（12月第1日曜日予定）
- ・ロータリー財団、米山奨学金への理解と寄付協力
- ・海外交換留学生への協力

※2023-2024年度 第2630地区インターアクト年次大会の実施準備